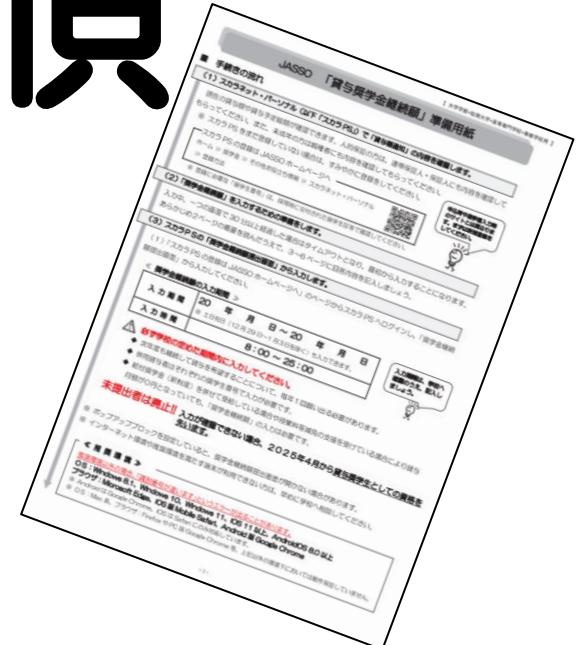


継続願

手続きの手順

スマホ画面は
横向きがおすすめ！



入力期間：12月16日(火)～12月24日(水)



未提出者は**廃止**になります！！
継続を希望しない場合も、**【入力必須】**です！

★不明点があれば、早めに奨学金窓口へご相談ください★

【本館 1 階 奨学金窓口】

平日：9：00～17：00 土曜：9：00～12：30

072-875-3069/072-875-3070

STEP①

準備用紙の記入

3ページ (A・B)

A-奨学金継続願について

1/6画面

「奨学金継続願」は、次年度の奨学金の継続の意思を確認するための大切な願出です。

この願出の記入内容と、平素の学業成績等を総合的に審査し、学校が奨学金継続の可否等を判断します。

願出を提出しても必ず継続して貸与されるとは限りません。

B-誓約欄

日本学生支援機構理事長 殿

奨学金継続願の提出にあたっては、正しく記入することを誓約します。

→入力当日の日付を入力してください。

西暦 年 月 日
半角数字

姓(15文字以内) 名(15文字以内)

氏名(全角カナ)

生年月日(西暦) 年 月 日
半角数字

正しく生年月日を入力してもエラーとなる
場合は、学校に確認してください。



★今は記入しないでください

Web入力する日に、当日の日付を
半角で入力してください

3ページ (C~E)

2 / 6 画面

C-あなたの個人情報

あなたの個人情報と貸与明細が表示されますので、確認してください。

D-奨学金振込みの継続の確認

あなたは継続願を提出して引き続き4月からの奨学金の振込みを希望しますか。

- 奨学金の継続を希望します
 奨学金の継続を希望しません

E-あなたの返還誓約書情報

登録済みの返還誓約書情報が表示されますので、確認してください。

あなた自身の住所、電話番号を変更しましたか。

- はい
 いいえ

あなた自身の住所等に変更がある場合には、下の「住所を変更する」ボタンを押して
変更後の住所等を入力してください。

それ以外の情報に変更がある場合には、学校に届出してください。

【人的保証選択者】次の内容が表示されます。

- あなた自身の情報 (住所・電話番号・携帯電話番号)
- 連帯保証人の情報 (漢字/カナ氏名・生年月日・続柄・住民票の住所・電話番号・携帯電話番号・勤務先)
- 保証人の情報 (漢字/カナ氏名・生年月日・続柄・住民票の住所・電話番号・携帯電話番号・勤務先)

【機関保証選択者】次の内容が表示されます。

- あなた自身の情報 (住所・電話番号・携帯電話番号)
- 連絡先の情報 (漢字/カナ氏名・生年月日・続柄・住所・電話番号・携帯電話番号)

※必ず表示された内容を確認してください

ポイント

表示された内容に変更がある場合は、学
校に届出してください。

※ 下線部のみの変更は不要です。

※ 保証制度は 10 月末時点の情報が表
示されます。

重要!

「希望しません」を入力した
場合は、次のページの注意事項
をよく読んでおいてください

E 学生本人の登録情報が表示されます

住所変更

電話番号、
携帯番号の変更

※変更した場合…

「はい」にチェック✓ 新しい情報を入力

※大学の登録はポータルシステムから
変更してください。

「継続しません」を選ばれた方は
これで終了です

★奨学金が必要となった場合は、新規申込が必要となります。

～ 今後の手続き～

5月中旬頃に開催される「返還説明会」の案内をポータルより連絡します
必ず説明会に出席してください。 卒業後の返還開始も可能です！！

3ページ (C~E)

C-あなたの個人情報

あなたの個人情報と貸与明細が表示されますので、確認してください。

D-奨学金振込みの継続の確認

あなたは継続願を提出した上で4月からの奨学金の振込みを希望しますか。

- 奨学金の継続を希望します 奨学金の継続を希望しません

2 / 6 回答

「継続を希望しません」を選択した場合、**貸与奨学生としての身分は3月をもって終了し、4月以降振り込まれません。**

E-あなたの返還誓約書情報

登録済みの返還誓約書情報が表示されますので、確認してください。

あなた自身の住所、電話番号を変更しましたか。

- はい いいえ

あなた自身の住所等に変更がある場合には、下の「住所を変更する」ボタンを押して変更後の住所等を入力してください。

それ以外の情報に変更がある場合には、学校に届出してください。

【人的保証選択者】次の内容が表示されます。

- あなた自身の情報 (住所・電話番号・携帯電話番号)
- 連帯保証人の情報 (漢字/カナ氏名・生年月日・続柄・住民票の住所・電話番号・携帯電話番号・勤務先)
- 保証人の情報 (漢字/カナ氏名・生年月日・続柄・住民票の住所・電話番号・携帯電話番号・勤務先)

【機関保証選択者】次の内容が表示されます。

- あなた自身の情報 (住所・電話番号・携帯電話番号)
- 連絡先の情報 (漢字/カナ氏名・生年月日・続柄・住所・電話番号・携帯電話番号)

あなた自身の住所又は電話番号のいずれか一方のみを変更・訂正する場合でも、両方入力が必要です。

ポイント

表示された内容に変更がある場合は、学校に届出ください。

※ 下線部のみの変更は不要です。

※ 保証制度は **10月末時点の情報** が表示されます。

※必ず表示された内容を確認してください

「希望します」

を入力した方は入力が続きます

E 学生本人の登録情報が表示されます

住所変更

電話番号、
携帯番号の変更

※変更した場合…

「はい」にチェック✓ 新しい情報を入力

※大学の登録は**ポータルシステム**から
変更してください。

3ペーシ (F・G)

F-返還の義務

- 返還の義務を自覚している
 - 返還の義務を自覚していない

G-学業不振の場合の処置

- 学業不振の場合の処置について理解している

3 / 6 画面

この項目について承知していない、もしくは理解していない場合は手続きを先に進めることができません。

返還が必要なことや処置については、2ページに記載されています。
必ず読んでから選択しましょう。

※「停止」や「廃止」になってから「知らなかった」では取り返しがつきません！！！

※例えば…1年生の方は、1年間で20単位以上修得できていないと、一種・二種は停止判定となります

6

一種・二種は「返還する約束」で振り込まれています。

準備用紙のP2をよく確認し「自覚している」に
チェック✓してください

1

次のページの「適格認定の内容および基準」を必ず確認の上、「理解している」にチェック✓してください

※不明な点があれば、必ず奨学金特設窓口で確認してください

ご自身の成績状況を確認したい場合は、必ず「成績表」を持参してください

貸与奨学金

適格認定の内容および基準

【3月成績発表時における修得単位数】

処置区分	内容	基準	年次別修得単位数一覧			
			1年次	2年次	3年次	4年次
継続	奨学金の交付を継続する。	廃止、停止、警告に該当しない者	修得卒業要件単位数が年間31単位以上	卒業見込証明書が発行される者		
警告	奨学金の交付を継続するが、学業成績が回復しない場合は、次回の奨学金の交付を停止または、廃止する場合がある事を警告し指導する。	次のいずれかに該当する者 (1) 修得単位数が著しく少ない者 (2) 学修の意欲に欠ける者	修得卒業要件単位数が年間20~30単位			
停止	・学業成績による事由の場合、1年間、奨学金の交付を停止する。 ・停学等による事由の場合、その相当する期間、奨学金の交付を停止する。	次のいずれかに該当する者 (1) 修得単位数が廃止該当者と同じであるが、成業の見込がある者 (2) 停学その他の処分を受けた者 (3) 学校内外の規律を乱し、奨学金の交付を停止させることが適当である者	修得卒業要件単位数が年間11~19単位	卒業見込証明書が発行されない者		
廃止	奨学生の資格を失わせる。	次のいずれかに該当する者 (1) 卒業延期が確定または卒業延期の可能性が極めて高い者 (2) 修得単位数が皆無または極めて少ない者 (3) 「継続願」を提出しなかった者 (4) 試験期間中の不正行為による処分を受けた者は、翌年度に廃止とする。但し、処置経過後に4年次でない場合は、再申込可とする。 (5) 退学・除籍の処分を受け学籍を失った者 (6) 学校内外の規律を著しく乱し、奨学生の資格を失わせることが適当である者 (7) 奨学生としての責務を怠り、特に奨学生として適当でない者	修得卒業要件単位数が年間10単位以下		卒業見込証明書が発行されない者	
復活	学業成績等の事由により、奨学金の交付を停止されていたが、その事由が無くなり、奨学金の再開の願出があった場合は、奨学金の復活をする事ができる。	次のいずれかに該当する者 (1) 修得単位状況により、成業したと認められ、「奨学生学修状況届」を提出した者 (2) 停学等の処分を終え、奨学生として適当であると認められる者		昨年度、停止処置を受けていた者で、修得卒業要件単位数が年間30単位以上の者	昨年度、停止処置を受けていた者で、卒業見込証明書が発行される者	昨年度、停止処置を受けていた者で、卒業見込証明書が発行される者

※1) 各年次における修得卒業要件単位数が年間10単位以下の場合、学修実績無しとして「廃止」とする。

※2) 「停止」処置は、1年間の停止処置2回を限度として認める。

※3) 在学年数が5年を超える者については、奨学金の交付はしない。

3ページ (H)

1.
当てはまる番号にチェック✓してください

2.
当てはまる番号にチェック✓してください

※この後の質問内容が変わりますので
気を付けてチェック✓してください

H-経済状況

4/6画面 - 1

1. 学生生活費の状況など、経済状況は奨学金申込時または前回の継続願提出時と比較して
変わりましたか。あてはまるものを一つ選択してください。

- (1) 好転した (2) ほぼ変わらない (3) 苦しくなった

2. あなたは現在家族と同居していますか。

4/6画面 - 2

- (1) はい
 (2) いいえ

←
入力当日時点の状況で選択してください。回答によって「4.」の画面表示が異なります。
※ この回答で通学形態は変更されません。

4ページ (3)

3. あなたの収入

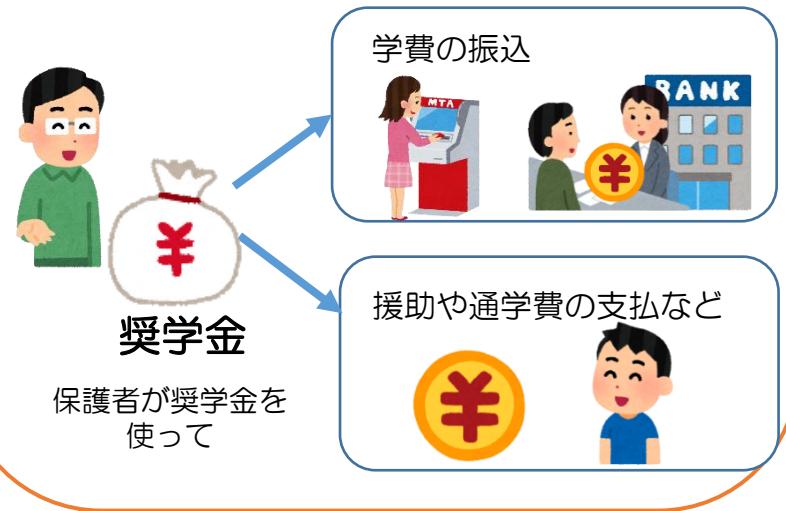
2年生～4年生：2024年12月～2025年11月
1年生：2025年 4月～11月

※ 収入及び支出の種類別に記入し、二重計上しないよう気をつけてください。[\(1万円未満切り捨て\)](#)

収入の種類	百万	十万	万	円	注意事項
1) 家庭からの給付 (家庭が支払った授業料/施設費等の学校納付金・自宅外通学者の家賃を含む)				万円	保護者が奨学金を使って支払うものは 「1) 家庭からの給付」には入力しないでください。
2) 日本学生支援機構の奨学金 <small>(自動表示)</small> ※ 併用貸与者は第一種奨学金と第二種奨学金の合計が表示されます。				万円	以下の6項目のなかで、あてはまるものがあれば、 「5) その他（貯蓄等の取崩額・臨時収入等）」に入力 • 第一種奨学金とあわせて振り込まれた「入学時特別増額貸与奨学金」 ※ 第二種奨学金とあわせて「入学時特別増額貸与奨学金」が振り込まれた場合は自動表示に含まれます。 • 緊急採用（第一種）奨学金・緊急特別無利子貸与型奨学金 • 給付奨学金 • 辞退した奨学金（併用貸与であったがいすれかを辞退した場合） • 海外留学支援制度（給付型）の奨学金 • 官民協働海外留学支援制度（給付型）の奨学金
3) 日本学生支援機構以外の奨学金				万円	大学・地方公共団体・民間団体等からの奨学金を含めます。
4) アルバイト等収入				万円	
5) その他（貯蓄等の取崩額・臨時収入等）				万円	上記2) の「注意事項」に記載の奨学金も、こちらに含めます。
収入合計 <small>(自動表示)</small>	★			万円	分類に迷う収入は、1)～5) の中で最も近いと思う種類に含めてください。

1) 家庭からの給付について

保護者が奨学金を使って支払ったものは
「2) 日本学生支援機構の奨学金」
になります。



3)～5)

該当するものがなければ、0円と入力

学費 (A)

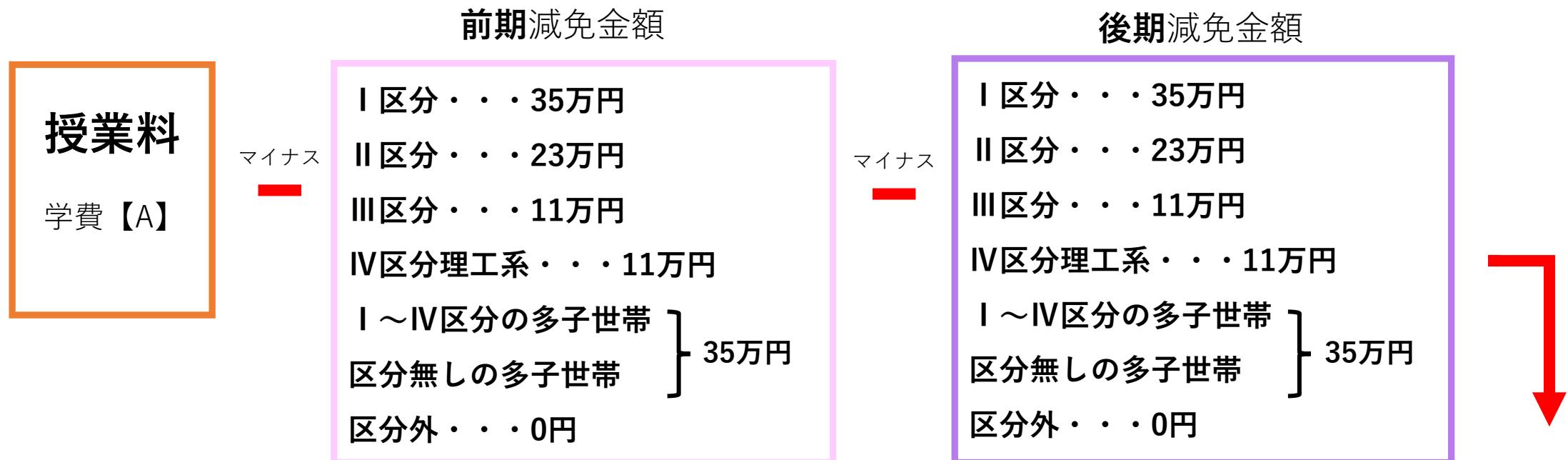
	1年生	2年生	3年生
国際学部	93万円	116万円	116万円
スポーツ健康学部	107万円	134万円	134万円
経営・経済学部	92万円	115万円	115万円
工学・デザイン工学部	130万円	157万円	157万円

※学費には教育環境充実費や諸会費等も含まれています

学費【B】

★給付奨学金（理工系・多子世帯含む）を受けている場合

※支援区分はスカラネットパーソナルから確認してください



例：1年生の経営学部で前期I区分・後期III区分の場合

$$92\text{万} - 35\text{万} - 11\text{万} = 46\text{万}$$

不明な点は必ず、奨学金窓口で確認してください

支出の種類	百万	十万	万	千
1) 学費 (授業料・施設費等の学校納付金等を含む)				
マイナスした数字を 「1) 学費」に記入する				

4ページ (4-自宅通学)

4. あなたの支出

2年生～4年生：2024年12月～2025年11月

1年生：2025年 4月～11月

※ 収入及び支出の種類別に記入し、二重計上しないよう気をつけてください。[\(1万円未満切り捨て\)](#)

H-2. の回答により画面表示が異なります。①②どちらかのみを記入してください。

① H-2で「(1)はい」(家族と同居している)を選択した場合

家族と同居していない期間がある場合、水道光熱費は「4) 通信費」、家賃は「5) その他」に含めてください。

支出の種類	百万	十万	万	円	注意事項
1) 学費 (授業料・施設費等の学校納付金等を含む)				万円	<p>【含めるもの】 授業料・施設費、施設設備費、実験実習費、後援会費、保険料、留学費用等</p> <ul style="list-style-type: none">・今年4月入学者は、授業料等は入学金に含まれて学前に支払った場合、授業料等は「1) 学費」、入学金は「5) その他」に含めます。・授業料等が減免されている方は、4) 通信費に記入します。
2) 修学費 (教科書・図書費・文具購入費・課外活動費・通学費等を含む)				万円	<p>【含めるもの】 教科書・図書費・文具購入費・課外活動費・実習旅行費・通学費・部活動やサークル活動費・駐輪場等</p>
3) 食費 (外食費用)				万円	<p>・外食時の費用を含めます。 ※あなたの収入3. 1)に家庭が負担した食費を含めた場合は、その金額も含めます。</p>
4) 通信費 (携帯電話等の通信費を含む)				万円	<p>【含めるもの】 携帯電話等の通信費用・インターネット費用等</p>
5) その他 (医療費、娯楽・し好費等)				万円	<p>【含めるもの】 医療費・娯楽費・間食代・理容美容代・自動車学校の講習費・社会保険料等</p>
6) 機関保証制度の保証料 (自動表示)	/	/	/	万円	<p>保証料の合計が自動表示されます。 ※人的保証制度を選択している方は「0.00」と表示されます。</p>
支出合計 (自動表示)	☆			万円	分類に迷う支出は、1)～6) の中で最も近いと思う種類に含めてください。

※注意事項※

「1) 学費」について

★貸与奨学金 (第一種・第二種)
のみの方は [学費【A】](#) 参照

★給付奨学金を受けている方は
[学費【B】](#) 参照

1年生のみ

入学金は「25万」です。

5) その他に入力する

5ページ (4-自宅外通学)

4.あなたの**支出**

2年生～4年生：2024年12月～2025年11月
1年生：2025年 4月～11月

② H-2で「(2)いいえ」(家族と同居していない)を選択した場合

支出の種類	百万	十万	万	円	注 意 事 項
1) 学費 (授業料・施設費等の学校納付金等を含む)				万円	<p>【含めるもの】 授業料・施設費、施設設備費、実験実習費、後援会費、保険料、留学費用等</p> <ul style="list-style-type: none">今年 4月入学者は、授業料等や入学金を入学前に支払った場合、授業料等は「1) 学費」、入学金は「6) その他」に含めます。授業料等が減免されている方は、減免後の金額(全額免除されている方は「0」)を記入します。
2) 修学费 (教科書・図書費・文具購入費・課外活動費・通学費等を含む)				万円	教科書・図書費・文具購入費・課外活動費・実習旅行費・通学費・部活動やサークル活動費・駐輪場等を記入します。
3) 家賃 (共益費等を含む。敷金・礼金等の特別支出を除く)				万円	共益費・管理費等を記入します。 ※ 敷金・礼金等の特別支出は6)「その他」に含めます。
4) 食費 (外食費用)				万円	<p>【含めるもの】 外食費、自炊の為の材料費、食事付の下宿などで下宿先に食費として支払う額等</p>
5) 光熱水料通信費 (携帯電話等の通信費を含む)				万円	<p>【含めるもの】 携帯電話等の通信費用、インターネット費用、水道光熱費、暖房費等</p>
6) その他 (医療費、娯楽・し好費等)				万円	<p>【含めるもの】 医療費、娯楽費、間食代、理容美容代、自動車学校の講習費、社会保険料、帰省のための交通費等</p>
7) 機関保証制度の保証料 (自動表示)	/	/	/	万円	保証料の合計が自動表示されます。 ※ 人的保証制度を選択している方は「0.00」と表示されます。
支出合計 (自動表示) ☆				万円	分類に迷う支出は、1)～7) の中で最も近いと思う種類に含めてください。

※注意事項※

「1) 学費」について

★貸与奨学金（第一種・第二種）のみの方は **学費【A】** 参照

★給付奨学金を受けている方は **学費【B】** 参照

1年生のみ

入学金は「25万」です。

6) その他に入力する

5ページ (5)

5. 収入と支出の差額 収入合計 (★) - 支出合計 (☆) = () 万円

※実際の画面は自動表示されますが、下書きでは3.収入合計 (★) から4.支出合計 (☆) を差引いて計算してください。

※差額がマイナス (支出>収入) の場合は、次の画面に進むことができません。

差額が0万円～35万円以内になるようにしてください

 **NG** 差額が36万円以上の場合は「奨学金の月額が多すぎる」と判断されます

 **NG** マイナスの場合は先に進めません！

!! 見直しのポイント・・・奨学金の2重計上、学費が入力できていない など

5ページ (6、I-1)

6.あなたの経済状況

家計状況やアルバイトなど、どういう理由で引き続き奨学金が必要かを記入

例：兄弟が全員学生で、多額の学費が必要であり、自分もアルバイトをしているが、学業を
おろそかにしないためにも奨学金が必要 など

I-1学生生活の状況

※授業やクラブ活動、ボランティアなど、学生生活で積極的に取り組んでいることを記入

例：クラブ活動を頑張り、同時に授業もよく学んだ

課外活動はしていないが○○の授業をよく取り組み○○についてよく学んだ など

学生本人が入力する

※入力時は全角（記号・数字含む）

6ページ (J-1、2)

J一学修の状況 1の(1)で(b)を選択した場合

※例：クラブ活動の〇〇に集中していた為、授業の出席が少しおろそかになってしまった。

来年は両立できるように学業もクラブ活動も取り組みたい など

J一学修の状況 2の(1)で(b)を選択した場合

※例：入学したばかりで、大学生活に馴染むのに精一杯で少し学修の取り組みが不十分だった。1年間で慣れてきたので、2年生からはもっと熱心に取り組んでいきたい など

学生本人が入力する

※入力時は全角（記号・数字含む）

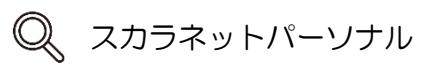
STEP②

スカラネットパーソナル

入力方法

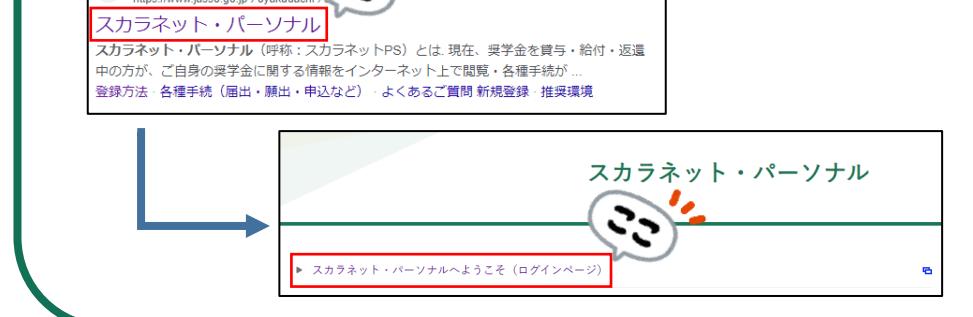
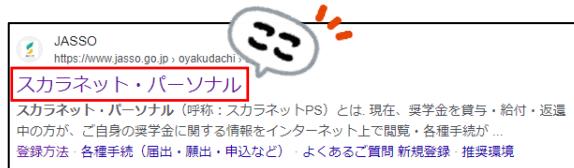
① スカラネットパーソナルにアクセスする

- ①パソコンやスマートフォンで
「スカラネットパーソナル」と検索



- ②「スカラネットパーソナルへようこそ」
をクリック

※パソコン画面



③

※パソコン画面



② スカラネットパーソナルにログインする

※パソコン画面



登録済みの方はコチラ
ユーザIDとパスワードは
ご自身で決めています

登録していない人は
コチラから

忘れた場合はコチラから

「スカラネットパーソナルのIDとパスワード」は、返還完了まで使用しますので、
いつでも確認できるようにメモしておいてください！

③ 奨学生番号を入力する

スカラネット・パーソナル

奨学生番号確認

奨学生番号の確認

日本学生支援機構、あるいは日本育英会の奨学生番号を入力してください。
奨学生番号が複数ある場合は、いずれか一つの奨学生番号を入力してください。

入力した奨学生番号が誤っている場合は、スカラネット・パーソナルにログインすることはできません。

奨学生番号	半角文字	<input type="text"/>	<input type="button" value="▼"/>	<input type="text"/>
-------	------	----------------------	----------------------------------	----------------------

戻る **次へ**

独立行政法人日本学生支援機構 Copyright © JASSO. All rights reserved.

奨学生番号とは

※採用時にお渡ししている

「**奨学生証**」

「**返還誓約書(本人控え)**」

に記載されています

※分からぬ場合…

WebClassのメッセージ

を確認してください！

2025年12月15日に

配信しています。

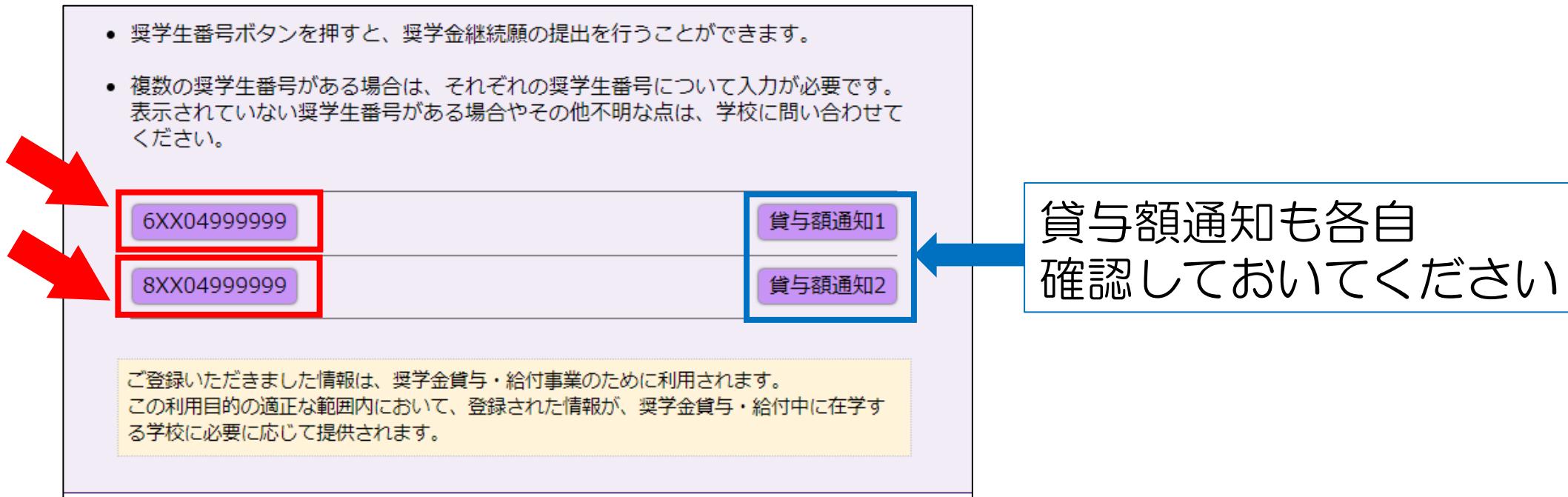
※電話等ではお答えできません

「奨学生番号」は、返還完了まで使用しますので、いつでも確認できるようにメモしておいてください！

④ 奨学金継続願提出を選択



⑤ 奨学生番号をクリックしてください



※受けている奨学金の数だけ表示されます

※表示されている奨学生番号、すべての入力が必要です

⑥準備用紙の通りに入力する

一種と二種は同じ内容を
入力してOKです！



入力が完了すると奨学生番号の横に「提出済」が表示されます

6XX04999999	「提出済（訂正可）： 継続希望 」	貸与額通知1
8XX04999999	←未入力です	貸与額通知2

入力してから変更したい場合…

入力期間内であれば、ご自身で訂正できます

入力時と同じようにスカラネットパーソナルにログインをし、
奨学金継続願提出 → 奨学生番号 をクリックしてください

6XX04999999	「提出済 (訂正可) : 継続希望」	貸与額通知1
8XX04999999	「提出済 (訂正可) : 継続希望」	貸与額通知2

※万が一、訂正しようとしても「訂正不可」と表示される場合のみ、奨学金特設窓口までお越しください

今後の流れ



適格認定（学業）の結果を
ポータルシステムで配信
(3月末頃)

「継続」「警告」であれば
4月以降も継続可能

- ・ポータルシステムは**必ず確認！**
- ・適格認定（学業）基準を確認し、分からぬところは奨学金窓口で確認してください！
- ・「停止」や「廃止」になってから「知らなかった」では**取り返しがつきません！！！**

その他手続きについて

一種・二種の「月額変更」

【希望者のみ】

一種・二種の月額は、増やすことや、減らすことができます

※給付と一種を同時に受けている方は一種の金額を変更することはできません（併給調整）



支払いが多いから、月額を増やそう

借りすぎていたので、月額を減らそう



本館1階奨学金窓口まで早めにお越しください

第二種の減額のみ

※スカラネットパーソナルで手続きできます

★2025年度の最終期限：2026年2月3日 17時までに提出 ➔ 3月振込分から変更

★2026年度の変更は、4月上旬の手続きで5月振込分から変更となりますのでご注意ください

※人的保証の方は「印鑑登録証明書」が必要です。手続きを希望される方はお早めにお問い合わせください。

【希望者のみ】

一種奨学金のみ「返還方法」の見直し

第一種奨学金を受けている方は、申込時に「返還方法」をご自身で決めていきます

「定額返還方法」 → 返還開始から終了まで一定の金額で返還する方法

「所得連動返還方法」 → 卒業後の所得に応じて毎年の返還額が変わるもの（必ず機関保証）

※辞退（「継続を希望しない」を選択）した場合や、**貸与終了後は変更できません**

※「定額」 → 「所得連動」は貸与終了後でも変更可

変更を希望する場合は、早めに奨学金3番窓口までお越しください

【希望者のみ】

二種奨学金のみ「利率算定方法」の見直し

第二種奨学金を受けている方は、申込時に「利率の算定方法」をご自身で決めていきます

「利率固定方式」 → 貸与終了時に決定した利率が、返還完了まで適用される方式

「利率見直し方式」 → おおよそ5年ごとに、利率が市場金利に応じて見直される方式

※辞退（「継続を希望しない」を選択）した場合や、**貸与終了後は変更できません**

※人的保証の方は「印鑑登録証明書」が必要です。

変更を希望する場合は、早めに奨学金3番窓口までお越しください

以上で手続きは終了です

ご不明点があれば、奨学金窓口までお問い合わせください